

世界防災フォーラム・防災推進国民大会2017

仙台国際センターで平成29年11月25日(土)～28日(火)に世界防災フォーラム、11月26日(日)、27日(月)に防災推進国民大会2017が開催されました。

世界防災フォーラムでは、「陸海統合地震津波火山ネットワークによる防災・減災」をテーマに、気象庁上垣内修地地震火山部長、東北大学長谷川昭名誉教授、防災科研地震津波火山ネットワークセンター青井真センター長らがテクニカルセッションを行い、陸海統合地震津波火山観測網「MOWLAS」(モウラス)を紹介するとともに、観測網で捉えた情報の利活用や将来の展望について議論し、国内外の方に公聴いただきました。

防災推進国民大会2017では、ブース展示とテーマセッションを行いました。

ブース展示ではMOWLASなど、防災科研が

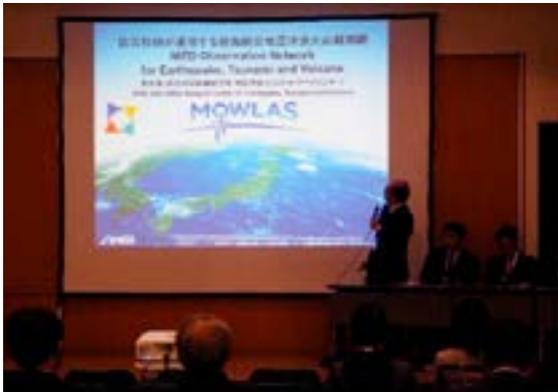
取り組む研究活動をご紹介いたしました。

テーマセッションでは「防災教育の過去、現在、未来」と題し、東京大学地震研究所平田直教授、人と防災未来センター河田恵昭センター長、東京学芸大学渡邊正樹教授、文部科学省吉門直子安全教育調査官、防災科研林春男理事長が登壇いたしました。

クロージングセッション「防災推進国民大会2017の振り返りと今後の展望」では林理事長がモデレーターとして登壇し、活発な議論が行われました。

イベントでは1万人を超える来場者を集め、多くの方にお立ち寄りいただけました。

世界防災フォーラム、防災推進国民大会2017ともに多くの方にご参加いただき、防災科研の取り組みを紹介することができました。



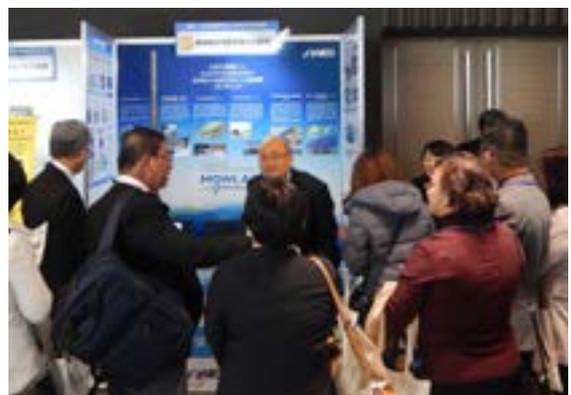
世界防災フォーラムでの会議セッション



クロージングセッションでの林理事長



防災推進国民大会2017でのテーマセッション



展示ブース

シンポジウム 地震津波火山災害に強い社会を目指して～全国を網羅する陸海統合観測網の誕生～

防災科研は、全国の陸域から海域までを網羅する「陸海統合地震津波火山統合観測網」が本格的な統合運用を開始することを契機に、愛称を一般公募し、「MOWLAS」(モウラス)と名付けました。MOWLASを紹介するとともに、遠くない将来に発生が懸念される南海トラフ地震や首都直下地震に向けてどのように備えるべきか考えていくため、平成29年11月29日(水)にイノホールでシンポジウム「地震津波火山災害に強い社会を目指して～全国を網羅する陸海統合観測網の誕生～」を開催いたしました。

水落敏栄文部科学副大臣から来賓挨拶をいただき、防災科研地震津波火山ネットワークセンター青井真センター長による概要説明、東北大学長谷川昭名誉教授による基調講演の後、防災科研岡田義光前理事長をはじめ、さまざまな形でご尽力いただいた5名の方よりメッセージをいただきました。

続いてパネルディスカッションが行われ、モデレーターは国土舘大学山崎登教授、パネリストには東京大学地震研究所平田直教授、気象庁

橋田俊彦長官、JR東日本向山路一常務執行役員、時事通信社中川和之解説委員、タレントの眞鍋かをり様にご登壇いただき、林春男理事長を交えて、観測網の果たす役割などについて活発な議論が行われました。

最後に、愛称の選考委員の名城大学柄谷友香教授から講評、MOWLASをご提案くださった浜口直樹様からご挨拶をいただき、林春男理事長より感謝状を贈呈いたしました。

460名を超えるご来場があり、MOWLASを知っていただく良い機会となりました。

防災科研では、MOWLASの安定的な運用および発展、MOWLASによって得られるデータの更なる活用に努めてまいります。



来賓挨拶 水落副大臣 基調講演 長谷川名誉教授



概要説明 青井センター長



パネルディスカッション



会場の様子



感謝状贈呈

浜口直樹様

行事開催報告

文部科学省 エントランス展示を実施

防災科研では、11月1日から約2ヵ月間にわたり、文部科学省2階エントランスでの展示を実施いたしました。

文部科学省は、様々な来訪者があり、エントランスは常時人が往来しています。今回の展示では、全国を網羅する陸海統合地震津波火山観

測網「MOWLAS」(モウラス)や、兵庫県三木市にあるEーディフェンスの紹介展示を実施させていただきました。

多くの方にお立ち寄りいただき、防災科研の災害に強い社会を実現するための取り組みを知っていただくよい機会となりました。



文部科学省エントランス展示の様子



外側からの様子

受賞報告

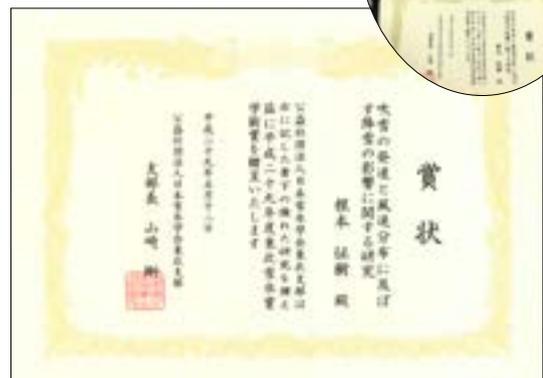
平成29年度東北雪氷賞(学術賞)を受賞しました

雪氷防災研究部門の根本征樹主任研究員が、「吹雪の発達と風速分布に及ぼす降雪の影響に関する研究」で、平成29年度東北雪氷賞(学術賞)を受賞しました。

今回の受賞は、「吹雪の基本的な性質に関する研究を進展させた功績ならびにそれを予測システムに実装し吹雪災害の再発防止に貢献した功績」が評価され、日本雪氷学会東北支部の推薦を受けたものです。

根本征樹主任研究員は、「本研究の推進に当たり、雪氷防災研究センターの職員をはじめとする防災科研の皆様、さらには学会等で議論を深めてくださった研究者仲間や、予測モデルの試験運用にご協力くださった様々な方々(民間

企業、行政、自治体などで防災等に関わる方々)など、大変多くの方々の有形無形のご助力に心より感謝申し上げます」と語っています。



編集・発行



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 企画部広報課

TEL.029-863-7768 FAX.029-863-7699

URL : <http://www.bosai.go.jp> e-mail : k-news@bosai.go.jp

発行日

2017年12月20日発行 ※防災科研ニュースはWebでもご覧いただけます。